

2018年度 第2回 11月阪大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

①「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実に誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

1) 部分は必須キーワードであり，この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。

2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。

3) 「②（①の説明として）」は，加点ポイント①を正解していなくても，加点ポイント②に該当すれば加点する。

(I) 配点 50 点

問1 15 点

一人っ子政策により人口増加率が低下した。また、国に売る一定量の農産物以外は自由に販売できる生産責任制が導入され、農業の生産性が向上した。さらには、経済改革・対外開放政策による外資の誘致で工業化と経済成長が進み、食料品を十分に買えない貧困層が減り、食料品の輸入も増えた。よって、栄養不足人口が減少した。(150 字)

【加点ポイント】

- ① (中国の栄養不足人口の推移について) 栄養不足人口は (徐々に) 減少した →2 点
- ② (①の人口背景として) 人口増加率の低下/人口爆発の解消 →1 点
- ③ (②の背景として) 一人っ子政策 →2 点

- ④ (①の農業背景として) 農業の生産性向上/農産物の生産量増加 →1 点
- ⑤ (④の背景として) 生産責任制/生産請負制/請負生産性 }
/農家請負制/農家経営請負制 } →2 点

- ⑥ (①の経済背景として) 貧困層の減少/購買力の向上/国民所得の増加 →1 点
- ⑦ (⑥の背景として) 経済改革/対外開放政策/改革開放/経済開放 →2 点
- ⑧ (⑦の具体例として) 外資の誘致/経済特区の設置/経済技術開発区の設置 →1 点
- ⑨ (⑥の背景・⑧の結果として) 工業化/経済発展/産業発展 →1 点

- ⑩ (その他)
 - ・ (③について) 第二子を産んだ両親には罰金が課せられた
 - ・ (⑤により⑤について) 農民の生産意欲が向上した
/国に売る一定量の農産物以外は自由に販売できるようになった
 - ・ (⑧⑨の背景として) 安価な労働力があつた
 - ・ 食料品/農畜産物 の輸入が増えた
 - ・ 郷鎮企業が成長した

1つ1点
2点まで

問2 15点

家族計画が浸透せず人口増加率が高いため、栄養不足人口は多いままだが、急増は免れている。緑の革命によりインドとパキスタンで小麦、インドとバングラデシュで米の高収量品種が普及したことや、所得が上昇するインドでミルクや鶏肉の需要が増え、白い革命と呼ばれる酪農振興や養鶏業の成長が進んだことがその要因である。(150字)

【加点ポイント】

- ① (南アジアの栄養不足人口は) 多いままである／急増はしていない
 ／大きくは増えていない／少し増えている／あまり変わらない } →2点
- ② (①の背景として) 人口増加率が高いままである／人口は増え続けている →2点
- ③ (②の背景として) 家族計画が浸透しない／ヒンドゥー教では男子を欲しが
 ／老後の社会保障が不十分／子供は労働力 } →1点
- ④ (①の背景として) 小麦の増産 →1点
- ⑤ (④について) インド／パキスタン →1点
- ⑥ (①の背景として) 米の増産 →1点
- ⑦ (⑥について) インド／バングラデシュ →1点
- ⑧ (④⑥の背景として) 緑の革命 →2点
- ⑨ インドでミルク (牛乳) の生産 (需要) が増加した →1点
- ⑩ インドで 養鶏業が成長した／鶏肉の生産 (需要) が増加した →1点
- ⑪ (その他)
 - ・ (⑧について) 高収量品種が普及した／品種改良で多く取れるようになった
 - ・ (⑧について) 灌漑施設／肥料／農薬 の導入による
 - ・ (⑨⑩の背景として) インドの経済発展／工業化／国民所得の増加
 - ・ (⑨のミルク増産について) 白い革命／白の革命 という
 - ・ (⑩の鶏肉増産について) ピンクの革命という

1つ1点
2点まで

問3 20点

宗主国が優良な農地を充てたプランテーションで輸出用商品作物が栽培されるため、自給作物栽培が脆弱である。また、宗主国が民族分布を無視して引いた植民地の境界が国境とされたため民族紛争が多く、必要な食料を買えない貧困層が減らない。こうした状況下、高収量かつ乾燥や病害虫に強いネリカ米の普及活動や、安定した価格で継続的に農産物を輸入して生産者を貧困から守るフェアトレードなどに、先進国の人々が取り組んでいる。

(200字)

【加点ポイント】

i) 植民地支配の後遺症として (12点)

- ①輸出用作物 (プランテーション作物・換金作物) が優先栽培される }
 / 優良な農地は輸出用作物に充てられる } →2点
- ②自給用作物 (穀物) 栽培が脆弱である / 主食用作物は後回しにされる →2点
- ③ (①②の背景として) 宗主国による / 植民地支配の名残り / 外貨獲得のため }
 / モノカルチャー経済である / 鉱産資源に恵まれない } →2点
- ④民族紛争 / 戦乱 / 内戦 / 政情不安 が多い →2点
- ⑤ (④の背景として) 民族分布を無視した国境線である }
 / 国内に複数民族が混在する / 民族が複数国にまたがる } →2点
- ⑥ (⑤の背景として) 国境線は宗主国が引いた / 植民地支配の境界が国境となった →2点

ii) 先進国の支援として (8点)

- ① (農業の技術面の支援として) ネリカ米の普及活動 / 耐乾燥などの品種改良 }
 / 種苗生産技術の支援 / 水資源開発支援 など } →2点
- ② フェアトレード →2点
- ③ (②の説明として) 安定した価格で輸入する / 適正な価格で輸入する }
 / 国際価格が下落しても同じ価格を保つ } →2点
- ④ (②の説明として) 農産物を 継続的に輸入する / 輸入し続ける →1点
- ⑤ (②の目的として) 生産者を貧困から守る / 生産者の生活を安定させる →1点

(Ⅱ) 配点 50 点

問 1 15 点

湿潤で乳牛が育ち、大消費地オークランドを持つ北島は、酪農が立地する。サザンアルプス山脈が走る南島の西部は、偏西風が上昇気流となって雨の多い森林地帯であるが、農耕に不適な急斜面が多く、林業が立地する。一方、なだらかな草原が広がる南島の東部は、偏西風が下降気流となるため乾燥し、牧羊や小麦農業が立地する。(150 字)

【加点ポイント】

- ① (北島について) 酪農が立地する →2 点
- ② (北島は) 湿潤／温暖湿潤／冷涼湿潤／冷涼 →1 点
- ③ (北島は) 大消費地がある／オークランドに人口が集中する
 ／北島は人口が多い } →2 点

- ④ (南島西部は) 林業が立地する →2 点
- ⑤ (南島西部は) 雨が多い／急斜面が多い／森林が発達する →2 点
- ⑥ (南島西部は) 偏西風が上昇気流になる／偏西風の風上になる
 ／偏西風が (サザンアルプス) 山脈にぶつかる } →1 点
 ／偏西風による地形性降雨に恵まれる

- ⑦ (南島東部は) 牧羊／羊の放牧 が立地する →1 点 (※「羊」を記していること)
- ⑧ (南島東部は) 小麦栽培が立地する →1 点
- ⑨ (南島東部は) 乾燥する／雨が少ない／草原が広がる →2 点
- ⑩ (南島東部は) 偏西風が下降気流となる／偏西風の風下になる →1 点

※④～⑩について、南島の西部 (北西部)・東部 (南東部) が曖昧な場合は加点しない。

問2 15点

南半球のオーストラリアの小麦は、小麦消費量が多い北半球の端境期に出荷され、小麦の国際価格を年間通して安定させる役割を担う。しかし、乾燥するマリー川流域に、湿潤なオーストラリアアルプス山脈東麓の水を導いて小麦を栽培するため、降水量が減るエルニーニョ時には旱魃による凶作となりやすく、小麦価格が高騰する。(150字)

【加点ポイント】

i) オーストラリアの小麦農業の影響力について (5点)

- ①小麦の国際価格を安定させている／小麦の国際価格に大きな影響を及ぼす →2点
 - ②(①の背景として) オーストラリアは南半球に位置している →1点
 - ③(②により) オーストラリアの小麦は北半球の端境期に出荷される
／オーストラリアの小麦の収穫期は北半球と約半年ずれる } →2点
- (※「北半球の」「多くの国の」などが無く、単に「端境期に出荷される」→1点)
(※「北半球の端境期に生産される」など「端境期」の誤用 →1点)

ii) オーストラリアの小麦生産の特徴について (10点)

- ①マリー川流域で栽培される →2点
- ②(①は) 乾燥している／降水量が少ない →1点
- ②(オーストラリアアルプス) 山脈東麓から(トンネルで)水を導いている
／スノーウィーマウンテンズ計画による導水 } →2点
- ③エルニーニョの時には降水量が減る →2点
- ④(降水量が少ないときには) 凶作となる／旱魃(干ばつ)が起こる
／収穫量が減る } →2点
- ⑤(④のときには) 小麦価格が高騰する／栄養不足人口が多くなる →1点

問3 20点

ヨーロッパ人が、温暖湿潤な南東部と南西部に建設した少数の大都市に人口が集中する。民族構成はかつての白豪主義の影響で白人の割合が高いが、イギリスからアジアに貿易の比重が移る中で多文化主義が推進されると、有色人種の移民とその子孫も増えてきた。また、迫害や感染症で激減した先住民アボリジニーの人口も、諸権利とともに回復している。彼らは乾燥した内陸や高温多湿な北部で狩猟採集を行うが、現在は都市生活者も多い。(200字)

【加点ポイント】

i) オーストラリアの人口分布について (4点)

- ① (人口の多い地域として) 南東部/南西部/いくつかの大都市 →2点
 (※シドニー・メルボルン・アデレードなどの具体例を挙げていても可)
 (※人口の少ない地域として「内陸部/大陸中央部の砂漠」を挙げているのみ →1点)
- ② (①の都市は) ヨーロッパ人/入植者/宗主国/イギリス人 が建設した }
 / (①の都市は) 白人が多く住む } →2点

ii) 民族構成として (16点)

- ①白人の割合が多い →2点
- ② (①の背景として) イギリスの植民地であった/かつて白豪主義が採られた →2点
- ③ (1970年代後半から) 有色人種の移民が増えた/アジア系の民族が増えた →2点
- ④ (③の背景として) 多文化主義 →2点
 (※「白豪主義の撤廃」のみ →1点)
- ⑤ (④の背景として) イギリスからアジアに貿易の比重が移った
 /日本や中国などとの貿易(経済的つながり)が増えた } →2点
 /イギリスのEC加盟/イギリスとの経済的結びつきの低下 }
- ⑥ (先住民について) アボリジニー/アボリジニ →2点
- ⑦ (⑥について) ・一時激減した/迫害を受けた/感染症で多数の死者
 ・乾燥した内陸や高温多湿な北部に追われた } →1つ2点
 ・近年人口が回復している/諸権利も回復した }
 ・狩猟採集生活を行う } 4点まで
 ・現在は都市生活者も多い }